



長崎県立虹の原特別支援学校 高等部

[本校] 〒856-0807 大村市宮小路3丁目5番1
電話 0957-55-5157 FAX 0957-55-5158
URL <http://www2.news.ed.jp/section/nijinohara-ss/>

[高等部対馬分教室]
〒817-0016 対馬市巖原町東里120 (対馬高等学校内)
電話・FAX 0920-52-3222

1 学校教育目標

児童生徒の命と人権を尊重し、教育的ニーズや発達段階等に応じたきめ細やかな指導と学習指導要領に基づく適切な教育活動を推進することにより、一人一人の児童生徒に生きる喜びを感じさせながら、生涯を通じてより豊かに生活するために必要な資質・能力を育成する。

【知識及び技能】

○家庭生活・社会生活・職業生活を豊かに営むために必要な力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】

○自分に誇りをもち主体的・自立的に考え判断し、よりよく生きようとする力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】

○自分の力を最大限発揮してたくましく生きる力を育成する。

○積極的に社会参加する態度及び調和のとれた人間性を育成する。

2 設置学科

- 普通科
- 就業サービス科 (平成30年4月に開設)

3 募集定員

- 普通科 募集定員は未定 (県教育委員会からおおむね1月中旬に発表予定)
- 就業サービス科 8名

4 応募資格 (令和6年度入学者選考検査募集要項から)

- 原則として、学校教育法施行令第22条の3に示す障害の知的障害者区分及び程度に該当する者で、保護者等とともに本県に在住し、かつ、以下の(1)又は(2)に該当する者
 - (1) 特別支援学校中学部もしくは中学校を卒業した者、又は令和6年3月に卒業見込みの者
 - (2) 学校教育法施行規則第95条の各号の一に該当する者
- ※ 療育手帳未取得の場合は、個別に相談の上で応募資格を有するか判断します。
- 就業サービス科に関しては上記に加えて、日常生活における身辺処理ができ、交通機関の利用を一人で利用できる者

5 入学時に必要な経費等

- ◎制服等の学校指定用品 120,000円程度
- ◎教科書代 (普通科) 15,000円程度
(就サ科) 21,000円程度
- ◎校納金 (給食費、修学旅行積立等を含む) 12,000円程度 (月額)
- ◎寄宿舎費 16,500円程度 (月額)
- ※ ◎は入学者全員、○は該当者のみの負担となります。なお、経費等の多くは保護者の所得等に応じて就学奨励費が適用されます。

6 学校の特徴

- 小学部・中学部・高等部がある特別支援学校です。寄宿舎を併設しており、自宅が遠隔地のため通学が困難な児童生徒の通学を保障しています。また、東長崎地区からスクールバスを運行しています。
- 壱岐市には壱岐分校 (小・中学部は壱岐市立盈科小学校内、高等部は壱岐高等学校内) が、対馬市には高等部対馬分教室 (対馬高等学校内) があります。
- 高等部1～3年生合わせて、約150名の生徒が在籍しており、県内の特別支援学校では最も大規模な学校です。
- 卒業後の進路を可能な限り自己選択とするために、希望する進路先での働く体験等に取り組む「現場実習」を3年間で5回ほど実施するなど進路指導の充実に取り組んでいます。
- 部活動・サークル活動は、本校においては、陸上競技部、サッカー部、バドミントン部、音楽サークル、美術サークルが、対馬分教室では陸上競技部が放課後に活動をしています。

7 2学科制（普通科・就業サービス科）

本校高等部では、卒業後に豊かな社会生活が送れるように「生きる力」を育むための教育活動を展開してきましたが、更なる職業教育の充実を目指して、平成30年度から就業サービス科を設置し、2学科制を導入しています。

○普通科

全ての生徒が卒業後に豊かな社会生活を送ることができるよう「生きる力」を育むための教育活動を展開しています。一般就労を目指す生徒から、重度重複障害を併せ有する生徒など、実態は多様で、一人一人に応じたきめ細やかな指導を行うため、学年別や学級別、習熟度別グループなど、様々な形態を工夫しながら学習をしています。

	教科等を合わせた指導		教科別の指導											総合	道徳	特活	自立※2	計
	日生	生単	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	職業Ⅰ	職業Ⅱ	家庭	外国語					
1年	9.3	3	2	1	2	1	2		3.8	2	5.5	0.5	0.5	1	※1	1.1	0.6	35.3
2年	9.3	3	2	1	2	1		2	3.8	2	5.5	0.5	0.5	1	※1	1.1	0.6	35.3
3年	9.3	3.5	2	1	2	1			3.8	2	5.5	2	0.5	1	※1	1.1	0.6	35.3

- ・一単位時間は45分、年間35週、年間総授業時数は $35.3 \times 35 = 1235.5$ 単位時間
- ・保健体育は、週に3回同じ時間に実施する朝の運動1.8時間を含む。
- ・日生は「日常生活の指導」、生単は「生活単元学習」を意味する。また、「職業Ⅰ」では職業生活に関する机上の学習を、「職業Ⅱ」では作業の実践的な学習を実施する。
- ※1 道徳は、本校の道徳教育全体計画に基づき、教育活動全般（各教科等の指導を含む）を通して行う。
- ※2 学年別に自立活動の時間における指導を設定して指導を行うとともに、学校生活全般（各教科等の指導を含む）でも取り扱う。

○就業サービス科（清掃サービスコース、販売・事務サービスコース）

本県の特別支援学校高等部等における職業教育の一層の充実を図るという方針から、平成30年4月に就業サービス科を設置し、6年目を迎えました。

任された職務を正確に遂行できる能力や社会人としての礼儀やマナー、豊かな社会生活を送ることができコミュニケーション能力を身に付けることを目指します。

就業サービス科の特徴として、学校近隣の職場に定期的に出向いて行うデュアルシステム型実習を導入するなど、職業教育の充実を目指しています。

	教科等を合わせた指導	教科別の指導											総合	道徳	特活	自立※2	計	
	生活総合	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	職業	家庭	外国語	情報						専門
1年	8.3	2	1	2	1	1.6		2.6	1	2	0.5	0.5	9.6	1	0.6	1	0.6	35.3
2年	8.3	2	1	2	1		1.6	2.6	1	2	0.5	0.5	9.6	1	0.6	1	0.6	35.3
3年	8.3	2	1	2	1	1(選択)		2.6	1.6	2	0.5	0.5	9.6	1	0.6	1	0.6	35.3

- ・一単位時間は45分、年間35週、年間総授業時数は $35.3 \times 35 = 1235.5$ 単位時間
- ・専門教科は、1年生で「農業」と「流通・サービス」を学習する。また、2・3年生では【清掃サービスコース】と【販売・事務サービスコース】に分かれて、「流通・サービス」を学習する。
- ※1 総合的な探究の時間は、特定の期間に年間35時間を目安として学習を行う。

8 卒業生の進路

	進学	一般企業	就労継続A型	福祉的就労	その他	計
R3年度	0	13	3	30	0	46
R4年度	0	10	6	36	0	52
R5年度	0	16	3	20	0	39
計	0	39	12	86	0	137

9 その他

- 本校では多目的トイレやエレベーター、階段の手すり等を備えており、身体の不自由な児童生徒のための学習環境を整えています。